科目基礎			│ 開講年度 令和06年度 (2	2024年度) 排	受業科目	品質管理			
	性情報								
科目番号		5K025		科目区分	専門/選択	1 •			
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位:	1			
開設学科		物質工学科	Į.	対象学年	5				
開設期		前期		週時間数	2				
教科書/教	材		品質管理入門テキスト」奥村士郎著	皆(日本規格協会)	格協会)				
担当教員		野崎 祐二郎	邓,大岡 久子						
到達目標	_								
□品質管理□品質管理□□品質管理□TOM,IS	里の基本的 里で用いら 609000の	手順、活用技術 れる統計的手法 品質マネジメン	を種活動の基礎となる品質管理の考え がを理解できる。 なを理解できる。 ・トシステムの趣旨、概要を理解でき ひように活用しているか、事例をあげ	გ.					
ルーブリ	ノック								
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの	<u></u> 目安	未到達レベルの目安			
評価項目1			品質管理の基本的考え方と活用手 法について充分に理解し説明でき る。	品質管理の基本的考え 法について説明できる		品質管理の基本的考え方と活用手 法について説明できない。			
評価項目2			TQM(品質経営)の活用事例に ついて充分に理解し説明できる。	TQM(品質経営)の ついて説明できる。	活用事例に	TQM(品質経営)の活用事例に ついて説明できない。			
評価項目3			品質管理・TQMについて充分に 理解し総合的に説明できる。	品質管理・TQMにつ に説明できる。	いて総合的	品質管理・TQMについて総合的 に説明できない。			
		項目との関係	<u> </u>						
準学士課程	呈 C								
教育方法	5等								
概要		この科目は	の概念、基本的な手順、活用技術の基本を理解するとともに、その中で用いられる統計的手法の活用方法を理 そして、最近の品質管理を取り巻く動向を理解し、TQMや国際規格であるISO9000の概要と事例を紹介する。 は企業で長年、品質管理の実務・管理に携わっていた教員がその経験を活かし、品質管理の基礎理論・実務応 の分析手法等について講義形式で授業を行うものである。						
授業の進め	か方・方法	品質管理で する。さら]手法 用いられる統計的手法について理解 に実践事例を紹介して活用方法を紹 品質管理を取り巻く動向	する。基本的なデータ <i>の</i> 介する。	種類、まとぬ	方とその活用の方法について理解			
		最近の品質	加貴自住を取り合く動向について理解する。 でいて理解する。さらにTQM、I	る。TOM、及び、国際基	基準となったI 「紹介する。				
注意点		最近の品質ムの概要に	賃管理を取り巻く動向について理解す	る。TOM、及び、国際基	基準となったⅠ [紹介する。				
	属性・履何	最近の品質	賃管理を取り巻く動向について理解す	る。TOM、及び、国際基	基準となったI 紹介する。				
授業の属		最近の品質 ムの概要に	賃管理を取り巻く動向について理解す	る。TOM、及び、国際基	甚準となったI 紹介する。	SO9000の品質マネジメントシステ			
授業の属	ィブラーニ	最近の品質 ムの概要に	経理を取り巻く動向について理解する。さらにTQM、I	る。TQM、及び、国際 S Oの実践事例について	基準となったI 紹介する。				
	ィブラーニ	最近の品質 ムの概要に 修上の区分	経管理を取り巻く動向について理解する。さらにTQM、I	る。TQM、及び、国際 S Oの実践事例について □ 遠隔授業対応	紹介する。	SO9000の品質マネジメントシステ			
授業の属	ィブラーニ	最近の品質 ムの概要に 修上の区分 ニング	経理を取り巻く動向について理解する。さらにTQM、I	る。TQM、及び、国際等SOの実践事例について 遠隔授業対応 遠隔授業対応 遺ごではできる。 おきでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	に紹介する。 との到達目標 管理の必要性、日本企業の発	SO9000の品質マネジメントシステ ② 実務経験のある教員による授業 活用、効果を説明できること Rと共に品質管理がどのように進化			
授業の属 □ アクテ	ィブラーニ	最近の品質 ムの概要 に	管理を取り巻く動向について理解する。さらにTQM、I □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ ICT 利用	る。TQM、及び、国際基 S O の実践事例について	との到達目標 管理の必要性 日本企業の発り か説明できる。 つきをコント	SO9000の品質マネジメントシステ ② 実務経験のある教員による授業 活用、効果を説明できること Rと共に品質管理がどのように進化			
授業の属 □ アクテ	ィブラーニ	最近の品質 A D D D D D D D D D D D D D D D D D D	「管理を取り巻く動向について理解する。さらにTQM、Iついて理解する。さらにTQM、I口にT利用 □ ICT 利用 □ ICT NH □ I	る。TQM、及び、国際基 S O の実践事例について 遠隔授業対応	との到達目標 管理の必要性 日本企業の発 か説明できる。 つきをコント 末/基本統計 直のばらつき	SO9000の品質マネジメントシステ図 実務経験のある教員による授業 活用、効果を説明できること とと はいました こと コールするためにデータを測ること この意味を説明できること の形(正規分布)を説明できること			
授業の属 □ アクテ	ィブラーニ	最近の品質に 多上の区分 ニング 週 括 1週 信 2週 3週 分	「管理を取り巻く動向について理解する。さらにTQM、I □ ICT 利用 □ ICT N	る。TQM、及び、国際基 S O の実践事例について	との到達目標 管理の必要性 日本企業の発 か説明できる。 つきをコント 末/基本統計 直のばらつき	SO9000の品質マネジメントシステロ 実務経験のある教員による授業 活用、効果を説明できること とと共に品質管理がどのように進化 こと コールするためにデータを測ること の意味を説明できること か形 (正規分布) を説明できること かのある物/事象の組合せ後のばらっ			
授業の属 □ アクテ	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	展近の研要 (多上の区分 ニング 週 1週 5 3週 3 4週 5 5週 0	「管理を取り巻く動向について理解する。さらにTQM、I □ ICT 利用 □ ICT NH	る。TQM、及び、国際等SOの実践事例について SOの実践事例について	との到達目標 管理の業別できる。 ではいいできる。 ではいいできる。 ではいいできる。 ではいいできる。 ではいいできる。 ではいいできる。 ではいいできる。 ではいいできる。 ではいいできる。 ではいいできる。 ではいいできる。	SO9000の品質マネジメントシステロ 実務経験のある教員による授業 活用、効果を説明できること とと共に品質管理がどのように進化 こと コールするためにデータを測ること この意味を説明できること か形 (正規分布) を説明できること かのある物/事象の組合せ後のばらて こと しゅり マルマン アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア			
授業の属□ アクテ 受業計画	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	展近の概要 (多上の区分 ニング 週 1週 5 3週 3 4週 5 6週 G	「管理を取り巻く動向について理解する。さらにTQM、I □ ICT 利用 □ ICT N表達化 □ ICT N表検用チェックシート、点検用チェ	る。TQM、及び、国際等SOの実践事例について SOの実践事例について	との到達目標 管理の必要を 管理ないでする。 ではいいでする。 ではいいでする。 ではいいでする。 ではいできる。 ではいいできる。 にはいいではいではいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいではいでき。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。	SO9000の品質マネジメントシステロ 実務経験のある教員による授業 活用、効果を説明できること とこと コールするためにデータを測ること の形 (正規分布) を説明できること か形 (正規分布)を説明できること かのある物/事象の組合せ後のばらなこと フーの基本事項を説明できること するための手法 (Q7:チェックシーこと			
授業の属□ アクテ 受業計画	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	最近の思要に 多上の区分 こング 週 打選 1週 5 3週 7 4週 6 6週 6	「管理を取り巻く動向について理解する。さらにTQM、I □ ICT 利用 □ ICT N	る。TQM、及び、国際経 SOの実践事例について 遠隔授業対応 「管理検定 TQM、ISO にはらうの意味 で概念、3σ)の意味 企本、偏差値) 計量化 などき)ではいる。 が成型 -4つの型) 問題が ックシート) 数値・ 数値・ 数値・	との到達目標 管理の必要を 管理ないでする。 ではいいでする。 ではいいでする。 ではいいでする。 ではいできる。 ではいいできる。 にはいいではいではいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいではいでき。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。 にはいできる。	SO9000の品質マネジメントシステロ 実務経験のある教員による授業 活用、効果を説明できること とこと コールするためにデータを測ること の形 (正規分布) を説明できること か形 (正規分布)を説明できること かのある物/事象の組合せ後のばらなこと フーの基本事項を説明できること するための手法 (Q7:チェックシーこと			
授業の属□ アクテ 受業計画	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	最近の概要 	でででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	る。TQM、及び、国際終 SOの実践事例について 遠隔授業対応 遺ごの 遺管理検定 TQM、ISO はらいで 標準偏差 ばらいで の概念、3の)の意味 確率、偏差値) 計量付 である。 はらいである。 はいである。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	との到達目標 管理本企明でシンボーションでは、 では、はでいる。 では、はでは、では、 では、はでは、 では、 では、 では、 では、 では、	SO9000の品質マネジメントシステロ 実務経験のある教員による授業 活用、効果を説明できること とこと コールするためにデータを測ること の形 (正規分布) を説明できること か形 (正規分布) を説明できること からなる物/事象の組合せ後のばらない しゅう はんしょく しゅう はんしょく しゅう はんしょく しゅう はんしゅう はんしゅんしゅんしゅん はんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅん			
授業の属 □ <i>アク</i> テ 授業計画	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	最近の概要 1 回	管理を取り巻く動向について理解する。さらにTQM、I 「一」 ICT 利用 「受業内容 「管理の基礎~ 品質管理とは、品質管理の歴史~ QC、SQC、TQC、 「を統計量~ ばらつき、平均、分散、(データをとることの意味、ばらつきに関かるとのでは、はらつきに関かるのは較、規格値を外れるでは、としてのでは、課題とは、以てストーリーのででは、課題とは、以てストーリーのででは、課題とは、以てストーリーのででは、課題とは、以てストーリーのででは、は、課題とは、以てストーリーのででは、は、課題とは、以てストーリーのででは、は、には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	る。TQM、及び、国際終 SOの実践事例について 遠隔授業対応 「空理検定 TQM、ISO はらいで 標準偏差 ばららの概念、3の)の意味 確率、偏差値) 計量化 (本本の応用) はきりで 成型 はもりででは、2000を付け、2000を付け、2000を付け、2000を付け、2000を可能では、2000を可	との到達目標性 管理本部 管理本部 でする。 管理本部 でする。 を対しまする。 にはでいる。 にはでは、はでは、はでは、できる。 にはでいるでいる。 にはでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるで	SO9000の品質マネジメントシステロ 実務経験のある教員による授業 活用、効果を説明できること とこと コールするためにデータを測ること の形 (正規分布)を説明できること の形 (正規分布)を説明できること さらなるための手法(Q7:チェックシー こと するための手法(Q7:管理図)を訪 関解し、説明できること するための手法(Q7:ヒストグラム はるための手法(Q7:ヒストグラム は ないまた ないまた は ないまた ないまた ないまた ないまた は ないまた ないまた ないまた ないまた ないまた ないまた ないまた ないまた			
授業の属 □ <i>アク</i> テ 授業計画	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	最近の概要 1 回	ででででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	る。TQM、及び、国際終 SOの実践事例について 遠隔授業対応 「空理検定 TQM、ISO はあらいで 標準偏差 ばららの概念、3の)の意味 確率、偏差値) 計量化 (本本の応用) はきりでで はできりである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ではいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。	に紹介する。	SO9000の品質マネジメントシステロ 実務経験のある教員による授業 活用、効果を説明できること とこと コールするためにデータを測ること の形 (正規分布)を説明できること のの意味を説明できること きのある物/事象の組合せ後のばらこと リーの基本事項を説明できること するための手法 (Q7:チェックシー こと するための手法 (Q7:管理図)を訪 理解し、説明できること するための手法 (Q7:ヒストグラム まるための手法 (Q7:パレート図 まるための手法 (Q7:パレート図 まるための手法 (Q7:パレート図 まるための手法 (Q7:パレート図 まるための手法 (Q7:パレート図 まるための手法 (Q7:パレート図 また また まるための手法 (Q7:パレート図 また			
授業の属 □ <i>アク</i> テ 授業計画	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	最近の概要 1 表	ででででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	る。TQM、及び、国際終 SOの実践事例について	に紹介する。	SO9000の品質マネジメントシステロ 実務経験のある教員による授業 活用、効果を説明できること とこと コールするためにデータを測ること の形 (正規分布)を説明できること のの意味を説明できること きのある物/事象の組合せ後のばらこと リーの基本事項を説明できること するための手法 (Q7:チェックシー こと するための手法 (Q7:管理図)を訪 理解し、説明できること するための手法 (Q7:ヒストグラム まるための手法 (Q7:パレート図 まるための手法 (Q7:パレート図 まるための手法 (Q7:パレート図 まるための手法 (Q7:パレート図 まるための手法 (Q7:パレート図 まるための手法 (Q7:パレート図 また また まるための手法 (Q7:パレート図 また			
授業の属	・イブラー:	Bu	(管理を取り巻く動向について理解する。さらにTQM、I田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	る。TQM、及び、国際経 SOの実践事例について 遠隔授業対応 「管理検定 TQM、ISO」 「標準偏差」の意見 で概念、3σ)の意見 で概念、3σ)の意見 なども、1 でのに用)の型) 以内シート)の型) 図のシグナル)関値で のののシグナル)のでで のででである。 数値で 数のでを 数値で 数値で 数値で 数値で 数値で 数値で 数値で 数値で 数値で 数値で	に紹介する。	SO9000の品質マネジメントシステロ 実務経験のある教員による授業 活用、効果を説明できること とませに品質管理がどのように進化 こと コールするためにデータを測ること の意味を説明できること の形(正規分布)を説明できること ものある物/事象の組合せ後のばらな と しゅう と はるための手法(Q7:チェックシー はるための手法(Q7:管理図)を訪せ こと はるための手法(Q7:管理図)を訪せ こと はるための手法(Q7:ドレート図 まるための手法(Q7:パレート図			

		14週	ISO9001~ ISO <i>0</i> (顧客重視、経営)歴史、品質マネジン との一体化、意図し	メントシステム ,た成果の達成)	ISO9001の変遷と をマネジメントす	ISO9001 ることの意	:2015の意 味を説明で	図/本質、品質できること			
	15週 期			期末試験			品質管理の活用と実践事例を理解し、説明できること					
	16浏		品質経営代表企業 (法人と社員と教	の紹介〜その成果と 育)	品質管理の実践と自身の品質管理について、その共通 性を説明できること							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標												
分類 分野			学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル 授業週				
評価割合												
		試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	É	計			
総合評価割合		80	0	0	0	0	20		.00			
基礎的能力		0	0	0	0	0	0	0				
専門的能力		80	0	0	0	0	20	1	.00			
分野横断的能力		0	0		0	0	0 0					